

答申（素案）への意見（井上委員）

全体について

- ・ 進行管理ということもあり、当初目標（計画値）に対して現在の達成度を定量表現（数値化）し、わかりやすくしてはどうでしょうか。但し、6つの基本目標全てではなく、差異の大きなものや課題の大きなものをピックアップ。（行政評価結果概要の抜粋表現）

基本目標1・2・3・4・5について

- ・ 事業の進捗の遅れの指摘に関しては、「単に適切に推進してください」ではなく、「推進責任者、対応目標時期、対策等を明確化し公表してください。」という積極的な表現にしてはどうでしょうか。

答申（素案）への意見（福場委員）

全体について

全体的に、「関係機関等を連携して・・・」「より積極的に推進・・・」「効果的な行政・・・を推進」とステレオタイプな答申表現は審議会メンバーの「チエの力」に欠くかと思う言い方ではないでしょうか。

基本目標への対応、「行番号毎」に適切又は追加分又は訂正語句を要求しているように感じる意見書の記入要請ですが、私は具体的アイテムをきちんと書き込むことが望ましい答申と考えました。従って、以下は、「行番」対応はしていませんので、事務局として「対応の政策」あるいは「計画事業名」に各々落とし込んでください。

行番号 20 - 28

〈目標 1〉

- (1) 安全教育の推進（自主的あるいは自助的な行動がとれるようにする学校教育と住民教育への計画並びに支援を組み直す）
- (2) 自然科学教育（体験・実験）の充実

行番号 29 - 38

〈目標 2〉

- (1) 災害ボランティア参加、高齢者、ハンディのある人との共同生活（弱者を支援するだけではなく、共に生活する）の体験の推進
- (2) ハザードマップの再検討及び高齢者の避難誘導訓練

行番号 39 - 45

〈目標 3〉

- (1) 旧商店街のシャッター店の支援及び活性又は利用促進
- (2) 市民農園の拡大、休耕地の利用の積極的利用促進

行番号 46 - 52

〈目標 4〉

- (1) 英語教育の拡充計画と支援の制度化
- (2) スポーツ特にテニスと卓球に特化した施設の新設の検討をスタートし、2020オリンピック開催時に発表する。

〈その他〉

シティセールス〈いんざいオンリーワン〉計画と名称を変更し拡充する。

※別紙の案の赤字のとおり訂正及び追加文章として記入しました。

答申（福場委員案）

平成30年8月 日

印西市長 板倉 正直 様

印西市総合計画審議会
会長 吉村 彰

印西市総合計画の進行管理について（答申）

平成28年11月8日付け印西企第360号で諮問のありましたこのことについて、
下記のとおり答申します。

記

当審議会において審議した結果、印西市総合計画に沿って着実に各施策の推進が図
られているものと判断します。今後も、以下の各基本目標における意見等に留意してい
ただき、将来都市像である「ひと まち 自然 笑顔が輝く いんざい」の実現に向け、
均衡のとれた健全なまちづくりを進められるよう要望します。

○基本目標1【生活環境】

恵まれた自然の中でやすらぎを持って生活できるまちをつくる

各施策の取り組みは、概ね着実に推進しているものと考えられますが、事業の進
捗に遅れがあるものは、適切に推進してください。

特に、防災・防犯体制の強化に向けての取り組みは、近年は数十年に一度といわれ
る自然災害が発生していることや、近隣市では児童が重大な事件の被害に遭うなど
それらへの対策強化が急務となっています。つきましては、**大災害に対する安全対策
の一層の強化並びに避難訓練の実施促進**を積極的に推進してください。

また、**自然との共存を学ぶ生かす計画②は未来を担う子供育成に欠かせないこと
を市民に啓蒙する。**

○基本目標2【健康福祉】

やさしさを持っていきいきと暮らせるまちをつくる

高齢者や障がい者が、生きがいを持って暮らせる環境づくりに向けての取り組み
は、**これからも着実に推進していかなければならない社会欲求です。**事業の進捗に
遅れがあるものは、適切に推進してください。

不安等がなく安心して子育てができる環境づくりに向けての取り組みは、少子化
による人口減が叫ばれている中で、当市は、子育て世代の人口流入等による保育等需
要の増加への対応が求められている。**保育園待機児童ゼロを求む市民の声に応じて**

39 〈いんざいは待機児童ゼロのまち〉を目指して取り組んでください。

40

41 ○基本目標3【産業振興】

42 地域の持つ可能性を活かした魅力あるまちをつくる

43 持続可能な農業の実現に向けての取り組みは、後継者不足や従業者の高齢化等に
44 より、農業経営環境は厳しさを増しています。つきましては、これらの解消に向けて、
45 関係機関等と連携してより積極的に推進してください。

46 また、旧市街地の商店街はシャッター店が改善されず活性化が遅れています。（特
47 に計画85. 88. 91. 97. 98への具体的計画の実施を進めてください。）

48

49 ○基本目標4【教育・文化】

50 健やかな心と体を育み未来を拓くまちをつくる

51 子どもたちが未来を拓くたくましい力を持ち多様な可能性を伸ばすための教育の
52 取り組みは、「確かな学力」を定着させるために、また、国際化が加速的に進展する
53 社会的ニーズに応えるためにも必要であり、適切に推進してください。

54 生涯学習や文化芸術の振興に向けての取り組みは、概ね着実に推進しているもの
55 と考えられますが、事業の進捗に遅れがあるものは、適切に推進してください。

56

57 ○基本目標5【都市基盤】

58 快適で暮らしやすい都市機能の充実した美しいまちをつくる

59 都市基盤の充実の取り組みは、概ね着実に推進しているものと考えられますが、事
60 業の進捗に遅れがあるものは、適切に推進してください。

61 特に、安全安心な生活環境の確保については、自然災害への安全確保のために、
62 〈ハザードマップ〉の再検討を含む全面的な再チェックを行い、学童の命を預かると
63 いう観点から、安全な道路環境に向けて関係機関等と連携してより積極的に推進し
64 てください。

65

66 ○基本目標6【住民自治・協働・行財政】

67 市民と行政がともに歩み健全で自立したまちをつくる

68 将来を見据えた効率的・効果的な行財政運営に向けての取り組みは、各計画の基盤
69 となる大切なベースとなると思います。今後はさらに、高齢化の進展や福祉ニーズ等
70 の増大に伴う社会保障費関係経費の増加や公共施設の維持管理費の増加が見込まれ
71 るため、柔軟かつ効果的な行財政運営を推進してください。

72

73

74 最後に、市が実施した平成29年度印西市市民満足度・重要度調査では、回答者の
75 約8割が「住みやすい」としてはいますが、個々の課題としては、「公共交通の充実」
76 など満足度の低い項目もあり、今後市がより力を入れていくべき項目と考えます。

77 また、民間企業が実施している住みよさランキングでは、平成24年から7年連続
78 全国1位という評価ですが、今後の課題は将来の人口増減等に対応する行政サービ

答申（福場委員案）

79 スの維持であるとされています。

80 印西市として他者がつくるランキングに左右されることなく〈いんざいオンリー
81 ワン〉というオリジナリティあるシティブランドの向上につとめ、市民が将来にわた
82 り住み続けたいと実感できるまちづくりを市民と共に創進していただきたい。